

令和4年度 第5回春日市教育委員会定例会 議事録

1 開会及び閉会に関する事項

① 日 時 令和4年8月19日（金）

開会 午前10時10分

閉会 午前11時

② 場 所 春日市役所議会棟全員協議会室

2 出席委員の氏名

教 育 長	扇 弘 行
委 員	魚 屋 けい子
委 員	安 本 誠 一
委 員	染 原 レイ子
委 員	宮 崎 泰三郎

3 委員を除き会議に出席した者の職氏名

教 育 部 長	金 堂 円一郎
教 務 課 長	武 末 竜 久
学校教育課長	今 福 保 幸
地域教育課長	山 下 江 利
文化財課統括係長	高 田 博 之
教務課統括係長	井 本 正 美
教 務 課 主 任	林 由 梨 奈

4 議事の概要

別 紙

午前10時10分 開会

【第1 会議録署名委員の指名】

○扇教育長

委員全員出席です。それでは、ただいまから令和4年度第5回春日市教育委員会議定例会を始めます。

始めに、会議録署名委員の指名を行います。安本委員を指名いたします。

【第2 報告事項】

(1) 教育長報告

○扇教育長

本日は、議案の付議事項はございません。次に、報告事項です。まず、私の方から報告いたします。

2点ございます。ひとつは、新型コロナウイルス感染症に伴う、夏季休暇明けの授業の開始についてです。夏期休暇中にも、児童生徒の陽性者数は随時報告を受けておりますが、やはり去年度よりも多い状況です。しかし、峠は超えたかと思われず。全ての新型コロナウイルス感染者を確認する全数把握を見直し、対象を高齢者など重症化リスクの高い患者に限定するよう、また、国民の行動制限や経済活動の制限を見直すよう報道がありますが、それにより保護者からの感染報告が学校に届いていない可能性があるのではないかと思います。先日、他県ですが、2学期再開については児童生徒の感染状況をしっかり見極めて、学級閉鎖あるいは学年閉鎖を躊躇なく行う旨を校長会で教育長から話をしたということを確認しています。筑紫地区では、先週初めに教育長会を行いました。どの市においても、昨年のようにオンライン学習あるいは午前午後に分けた分散登校は考えていないとのことでした。春日市としても、昨年は後期開始から一週間はオンライン授業を行う等、段階を踏んで後期再開としておりましたが、今年は各学校長の判断・危機管理能力を活かした対応といたしたいと思っております。

2点目です。春日市通過テスト実施要項についてです。令和4年3月25日に文部科学省からメクビット活用募集についてという事務連絡がきておりました。これに基づきまして春日市ではメクビットを活用しております。メクビットは無償であり、一部の学級・授業・教科だけといった利用も可能です。春日市では全児童生徒にタブレットを配布しておりますので、対象児童生徒を小学校1年生から中学校3年生まで、教科を今年度は算数数学に特定して活用しております。通過テストについては2年前から実施しておりますが、昨年は簡単な計算だけのテストを行いました。これを教員が採点しておりましたが、今年

度はタブレットを使用し、文部科学省の方針に則って実施いたしました。算数数学については、40分間メクビットにてテストを行いまして、集約その他は全て教育委員会・文部科学省に報告いたしております。CBTとは「Computer Based Testing」の略称で、コンピュータを使った試験方式のことですが、文部科学省は今回のデータを基に、令和6年度からCBTによる全国学力・学習状況調査を実施する予定とのことです。春日市教育委員会としては、今年度は算数数学の通過テストをメクビットにて行い、来年度からは国語算数（数学）を行う予定です。今後は、中学校でいえば国語・数学・英語、小学校は国語・算数と、社会か理科どちらかの3教科において、毎年度同じ問題で通過テスト実施しようと検討しております。毎年度同じ問題を使用することで、年度毎に比較が可能となり、学年毎の学力の実態が出てくるかと思えます。基準を決めて、そこを通過させていくことで、児童生徒の学力の実態を把握していこうというものです。これにより、個々の子ども達の、この単元のこの領域ができていないという個別指導が可能となります。筑紫地区の他の教育委員会が行っているかは定かではございませんが、本市としては今年度からメクビットを活用し実施をしております。小学校1年生から中学校3年生まで一斉に実施しておりますが、この規模での実施はおそらく全国でもあまりないのではないかと考えております。また、通過テストは、自分の分からなかった箇所の把握のために、児童生徒に回答・解説を行います。しかし、毎年度同じ問題を使用しようと考えておりますので、問題用紙は渡さず、終了後に回収します。また、通過テストについては教職員の負担にならないように努めてまいります。子ども達の真の学力と申しますか、どこが身に付いているか、身に付いていないかを明らかにしていこうと考えております。私からの報告は以上でございますが、ただいま説明いたしました件について、質疑はございますか。

○安本委員

メクビットの科目について、文部科学省が用意しているのは何教科ほどあるのでしょうか。また、毎年同じ問題を使うということになると、先生が問題を知っているので、出題される箇所を重点的に教えるという懸念が生じませんか。例えば大学だと、定期試験で毎年同じ問題を使用していたら、文部科学省から注意を受けた事例があったかと思えます。単位認定ではないのでいいのかなとも思うのですが、教育的な配慮をどうお考えですか。

○扇教育長

春日市では行ってないと思いますが、今でも全国学力調査の前に、昨年度一昨年度に出題されていた項目を重点的に教えている事例があるそうです。そのようなことを春日市ではさせるつもりはありません。あくまでも児童生徒の学力の実態の把握が目的であることを周知徹底いたします。そして、この子はここの単元が身に付いていないと分かれば、しっかりと補習して、次の学年に進級させることが目的です。履修主義から習得主義とい

う形になるのですが、習得主義に偏りすぎると明治時代のように落第が出てきます。そこまではせずに、ちゃんと身に付けたうえで進級させるという、単純な履修主義ではなく履修主義・習得主義を交えた状態にしたいと考えております。

○安本委員

毎年同じ問題を使用することについては、メリットとデメリットがあると思います。メリットというのは、同じ問題ですから、去年の生徒との比較ができるということで、デメリットは先ほど申し上げたものであると考えます。文部科学省は毎年問題を作成しているのでしょうか。

○扇教育長

文部科学省の全国学力・学習状況調査については毎年作り直しております。ですから、年度ごとの比較のしようがありません。

○染原委員

CBT化するということですが、これは読み上げ機能はあるのでしょうか。

○今福学校教育課長

今、文部科学省の担当者と日程の調整をしている段階でして、具体的な内容というものは今後はっきりしてまいります。春日市のICT支援員が窓口となって調整しております。通過テストの問題は春日市で作りますが、システム化等は文部科学省が行うということです。

○染原委員

入試にも今後活かされてくるのでしょうか。メクビットは書字障害の児童生徒にとっては有用であると思うのですが、読字障害の児童生徒に対して、もう一步踏み込んだ配慮があると良いなと思います。

○今福学校教育課長

詳細については今から明確になっていくところでございます。ただ、文部科学省のHPを見ていると、そのような配慮も考えているのではないかと思います。実際に、GIGAスクールが始まった時に読み上げソフトの助成もございました。

(2) 教育委員報告

○安本委員

教育長トークに参加いたしまして、現場の先生たちと色々意見交換をさせていただきました。その中の意見として若年の先生がおっしゃっていたことが、春日市内の若年教員同士の集いのような、春日市内の他の学校の先生と情報交換ができる場があれば良いなという意見がありました。また、副教科と呼ばれる科目は各学校の担当数が少ないので、他の学校の同教科の先生と意見交換ができる場があれば良いなという話もありました。そのようなことが教育委員会としてできるのでしょうか。

○扇教育長

非常に前向きな若年の先生達がいると安心しました。ただし、新型コロナウイルス感染症の対策のため大規模な会合が難しい現状がございます。小中学校共に筑紫地区の教科等研究会というものがございます。これは、コロナウイルス感染症が拡大する前は対面で協議をしたり授業公開をしたりしておりましたが、最近はオンラインで研修等をしている現状です。前向きな先生たちの御意向を活かせるよう検討したいと思います。

○安本委員

また、ある小学校に見学に行った際に、一部がプレハブという話を聞いておりましたが、立派な校舎が建っており驚きました。各教室に設置してある画面が、液晶のモニターと聞いていましたがスクリーンになっており非常に良かったと思います。教育格差の一つとしてハード面もあると聞いております。福岡市は全学校にスクリーンが設置してあるそうで、近隣の市町村とは差があるのではないかと思います。現在も、義務教育としての差が県内でも生じており、2・3年後にはハード面的な教育格差が広がってくるのかなと感じております。

○武末教務課長

大型スクリーンについて、福岡市で設置してはありますが、新しく校舎を作るにあたり実証実験として導入し、先生たちが使いこなせてしっかり児童生徒に伝えることができるかどうかということを検証してまいります。その結果、有用であると確認できましたら大規模改修工事の際等に、適切な時期を見て各学校に導入していきたいと思います。

○今福学校教育課長

スクリーンとプロジェクター以前の問題として、GIGAスクール構想はスタートしておりますが、大型提示装置自体が各教室に設置されていない状況です。テレビを十数年前から各教室に設置しておりますが、経年劣化により故障が増えております。これを更新していく必要があるのですが、実施計画で大型提示装置を各教室に設置するという要求をしております。その中で、プロジェクターと大型テレビと、どちらが良いかという結論が出ておりませんので、どちらかを導入するという形で要求しております。それぞれ一長一短ござ

いまして、視覚的には大型テレビの方がクリアであります。プロジェクターの方は非常にコンパクトで嵩張らず操作も容易です。価格的には若干大型テレビの方が安価でございます。校舎の増築に合わせ学校に設置依頼をいたしましたので、ちゃんとクリアに見えるか等の検証を行い、今後の要求に繋げていきたいと思っております。

(3) 事務局報告

事務局報告 ア 第1回春日市図書館協議会について

○扇教育長

それでは、各種審議会等の実施報告について、事務局から報告をお願いします。

○山下地域教育課長

地域教育課です。令和4年度第1回春日市図書館協議会を7月28日午後6時から開催いたしました。委員10名の内、9名が出席で開催しております。

議題及び審議結果については、図書館報告事項として、図書館事業報告を行っております。お配りしております令和4年度版図書館要覧に基づいて報告しておりますので、中の詳細については後ほどご覧いただければと思います。この報告につきまして、2点ほど委員の方から意見が出ておりますので報告いたします。

1点目として、令和3年度の子ども向け事業である「図書館で科学を学ぼう！体験しよう！」シリーズで「リフレッシュ理科教室」と「理科読かすが」を行っております。これは図書館の利用者を増加させる目的で行った事業でございます。図書館の利用者は文系の本好きな方が利用するという印象が強いと思っておりますが、本というツールを媒体としまして、色々な情報が集積している場所でございますので、理科系の子も小さいころから理科系の本を基に図書館に集っていただくという意図から、読み聞かせと実験工作を組み合わせたイベントをしております。このイベントに関して、貸出分類としてはどのような本がよく貸し出されているかというご質問がございました。蔵書構成としてはどういった分類の本が所蔵してあるかということは今まで統計を取っておりますが、貸出された本についての統計は取っておりませんでしたので、次回の図書館協議会で報告する予定でございます。

2点目としまして、電子書籍について、今後どのような展開を考えているのかという質問がありました。電子図書館サービスについては、コロナ禍において緊急事態宣言により図書館を休館せざるを得なくなった時に、どうにかして本を読む手段を確保したいということで、指定管理者のノウハウを駆使して始めていただいたところです。金額についてはコロナ対策費を活用しながらスタートしたサービスでございます。スタートする時点で今後の展望を持たないまま、取り急ぎ提供を始めたところでありましたので、今後どのような

展開をしていくかというものをしっかり検証していきたいということでお答えしております。春日市が考えるメリットとしましては、図書館にお越しになれない方への障がい者サービスツールとしての活用です。デメリットとしましては、運営上の問題ではありますが、コンテンツ数がまだ少ないわりには、金銭面での負担が大きいということがございます。今後の展開としては、資料費は無限ではございませんので、その中で本の書籍と電子書籍の割合をどのようにするかという指針を作っていきたいと考えております、ということでお答えしております。

次に、令和4年度の審議事項につきまして、図書館協議会としてどのようなことを重点的に審議していくか協議いたしました。結論といたしましては、図書館要覧に春日市民図書館の運営方針が記載されておりますが、こちらは平成24年7月に改訂して以来改定しておりませんので、この改定に向けて審議会で議論していくということで決定しております。報告は以上です。

○扇教育長

ただいま説明のありました報告について、質疑はございますか。

○安本委員

「リフレッシュ理科教室」と「理科読かすが」について、10月30日が参加者33人で、12月4・5日は2日間で参加者9名ということで、この人数の差というものは何故生じたのでしょうか。

○山下地域教育課長

こちらはコロナウイルス感染症の拡大の影響によるものです。また、10月30日の講座は親子で参加するイベントになっておりまして、12月4・5日は子どもだけで参加するイベントというところで、その面もあろうかと思えます。

○安本委員

以前、このイベントのようなもののボランティアをしていたことがあるのですが、その時に、理科に興味を持っていらっしゃるお母さんが非常に多くいらっしゃった印象があります。子どものころに不思議だったことが、大人になって更に不思議になったということがあるようですので、募集する時は親子で募集された方が良いのではないかと思います。

○山下地域教育課長

親子用と子ども用を準備しておりまして、親子用は公益財団法人応用物理学会主催ということで、専門的なことを質問されてもお答えできるような態勢にしております。子ども用については福岡女学院中学校高等学校の生徒に協力いただいております。

○金堂教育部長

公益財団法人応用物理学会主催の「リフレッシュ理科教室」に教育長と一緒に見学いたしましたところ、安本委員がおっしゃるようにお母さんが多くいらっしゃってました。また、もう1点、電子図書館の導入について、子どもの裸眼視力の低下が顕著になってきている側面もございますので、そこにも留意しながら進めていきたいと思っております。

事務局報告 イ 市制50周年記念第10回弥生の里かすが奴国の丘フェスタの開催について

○扇教育長

市制50周年記念第10回弥生の里かすが奴国の丘フェスタの開催について、事務局から報告をお願いします。

○高田文化財課統括係長

文化財課です。市制50周年記念第10回弥生の里かすが奴国の丘フェスタの開催につきましては、9月24日に開催する運びとなっております。弥生の里かすが奴国の丘フェスタ実行委員会の主催で、奴国の丘歴史資料館および歴史公園におきまして、3年ぶりに開催することとなりました。今回は第10回の記念に加えまして、市制50周年記念の冠事業としてこれまで以上に内容を充実して取り組んでまいります。具体的には、ステージとして、1回目から出演していただいております和田名保子さん、福岡女学院大学から軽音楽部にも参加いただいております。また、メインゲストとして中孝介さんをお呼びしております。体験イベントも10種類程用意しております。チラシについては、9月1日の市報にて全戸配布をいたします。今回の開催にあたっては、コロナウイルス感染症対策を十分に行ってまいります。

事務局報告 ウ 考古企画展関連講演会（「西の都」の時代の春日）の開催について

○扇教育長

考古企画展関連講演会（「西の都」の時代の春日）の開催について、事務局から報告をお願いします。

○高田文化財課統括係長

引き続きまして、文化財課です。今年度の考古企画展につきましては、8月27日から10月2日までの間、春日市奴国の丘歴史資料館特別展示室にて、「古代の日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～春日市の日本遺産」として開催いたします。日本遺産の「西の都」につきましては、平成27年に太宰府市が申請し、承認されたものですが、令和2年に春日市を含めた周辺市町村も追加されました。今回の企画展で紹介いたしますものは、春日市

にある「大土居・天神山水城跡」「官道」「ウトグチ瓦窯跡」を主に展示してまいりたいと思っております。併せて、9月3日に企画展関連講演会として、演題を「西の都」の時代の春日」、講師として坂上康俊先生をお迎えしてお話をいただくようにしております。内容につきましては、太宰府市が「西の都」と呼ばれた時代はどのような時代だったのか、また、春日市内の遺跡から出土した文字資料の意味や解釈についてお話をいただくようにしております。報告は以上です。

事務局報告 エ 令和4年度「教育長学校訪問」実施日の決定について

○扇教育長

令和4年度「教育長学校訪問」実施日の決定について、事務局から報告をお願いします。

○武末教務課長

教務課です。教育長学校訪問の日程について、お配りいたしております資料に各学校の日程と授業公開の趣旨を記載しておりますので、教育委員の皆様には出席希望日に丸を付けて教務課までご連絡いただきますようお願いいたします。報告は以上です。

事務局報告 オ 春日市学校人材登録フォームの開設について

○扇教育長

春日市学校人材登録フォームの開設について、事務局から報告をお願いします。

○武末教務課長

教務課です。前回の教育委員会議の際に御紹介してもらいましたが、正式に春日市学校人材登録フォームが開設されましたので、チラシをお配りしております。教員採用選考試験の倍率低下が著しい状況ですので、お知り合いの方で教員免許をお持ちの方がいらっしゃったらお願いいたします。昨日の時点で8人登録があつておりまして、それぞれ学校からの要望と本人の登録の内容を照らし合わせて順次紹介しているところです。報告は以上です。

事務局報告 その他の報告について

○扇教育長

その他、何か報告はございませんか。

○武末教務課長

教務課でございます。お盆休みの8月14日に、春日北中学校の屋上プールで漏水がある事故がありましたので、ご報告いたします。8月14日の午後7時30分頃に学校から電話連絡がありまして、現地に向かったところ、春日北中学校のプール自体の躯体が割れているのではなく、プール使用期間は水の浄化のため濾過器をとおして水を循環しているのですが、濾過機に連結しているパイプに穴が開いており、そこから水が漏れている状況でした。最終的にプールの水の三分の二の水が漏れておりまして、大体250トンくらいの水が機械室から下に漏れていったという状況です。機械室は4階にありますが、幸いなことに、2階のアリーナと1階の柔剣道場については大きな被害はなく、3階ミーティングルームについても、職員用机や体育用具が置いてありましたが、室内に置いてあったものが少なく、床置きのもの以外は最小限の被害でした。一番被害が大きかった箇所は1階のPTA会議室で、天井から水が漏れており、紙の資料は水に浸かり駄目になっており、PCやプリンターは電源が入らない状態になっているものもありました。被害の状況を確認しながら、今後対応していくというところですので、また、1階の木工室の床が濡れましたが、ここは板張りになっておりますので、乾燥した後どのような状況になっているか確認をいたします。被害については以上です。

今後についてですが、屋上に設置してあるプールについては、春日北中学校を含めて8校ございますが、この事故があった翌日に見回りをし、異常がないことを確認しております。

○扇教育長

補足いたします。水泳部がある学校は練習等がありますので除きますが、水泳部がない学校は夏休みに入った段階でプールの水の循環等を止めるよう指導していこうと思っております。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、プールの授業の開始が遅れた都合上、春日北中学校は9月初旬まで授業が入っていたということですので、来年度からは夏休みに入ったら停止するという事は徹底していきたいと思っております。

【第3 調整事項】

- (1) 9月定例教育委員会議の日程について
令和4年10月7日（金） 午後2時 決定
- (2) 10月定例教育委員会議の日程について
令和4年10月26日（水） 午前9時 予定
- (3) 9月教育委員懇談会の日程について

令和4年10月7日（金） 午後3時 決定

(4) 10月教育委員懇談会の日程について

令和4年10月26日（水） 午前10時 予定

午前11時 閉会